

地域密着型金融の取組事例について

タイトル	ちびっこ倶楽部	J A 名	J A 周南	(山口県)
1 動機 (経緯)	J A 食農教育とは、「食」・「農」・「地域」・「自然」の関わりを重視し、農産物がいのちを育み、成長していく過程を大切にしながら、食への関心・興味を高揚し、食を支える農の役割、くらしと社会との関わり、地域の食文化、いのちの大切さに対する理解を広げ深めることです。こうした取組みを通じて、食と農、地域と J A を結び、地域住民の J A への地域支持率向上を目指します。			
2 概要	①じゃがいもを育てよう ・じゃがいもの植え付けとソーメン流し IN 鹿野… 8 月 4 日 (土) ・じゃがいもの収穫とじゃがいも料理 IN 鹿野… 11 月 18 日 (日) ②バケツ稲づくり体験&ピーマンを育てよう ・バケツ稲を植えよう&プランターにピーマンを植えよう… 5 月 26 日 ・バケツ稲観察とピーマンが育ったな?… 観察投稿 ・ピーマンで作る親子料理教室… 夏休み期間中 ・お米まつりでお米の収穫勉強会… 11 月 3 日 (土) ③親子で作るクリスマスケーキ… 12 月 22 日 (土) ・西部地区… J A 新南陽支所 ・東部地区… 下松市健康増進課			
3 成果 (効果)	①地元農産物への理解促進 安全・安心な農産物を供給することとあわせて J A 食農教育活動を地産地消の理解者や農業への関心を深め、J A 事業への理解者を増やすことにつながった。 ②組織基盤強化 地域住民の参加や各組織との連携を図り、次世代も含めた幅広い層の理解と支持を地域に広げることができた。			
4 今後の 予定 (課題)	今後は支所を中心とした食農教育活動にするとともに、植え付けから販売までの体験を通じて、若い年代への農や地元農産物への理解を深めるとともに、J A ファンづくりに結びつける。			

